

今月の題字

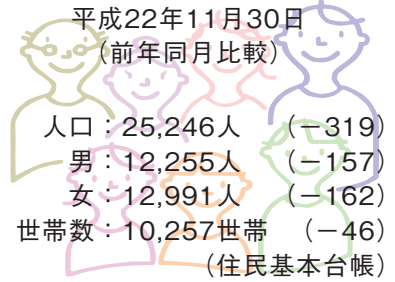


熊野第四小学校5年生  
赤野 瑞友さん

町の人口と世帯数

平成22年11月30日

(前年同月比較)



熊野の自然 (256)

ハタザオ

(アブラナ科)



生していて、白っぽい緑色です。春になると、一本だけ真つ直ぐに茎を伸ばします。高さは50〜100cm。茎につく葉は、根出葉とは違って無毛で裂けず、茎を抱くようにつき、

根元から出た葉が地面に張り付くように円く広がります。バラ、ローズと同じ語源で、バラの花のような形を意味しています。ロゼットの多くは、キク科やアブラナ科などの草の冬越しの姿として見られます。冬の乾燥した寒風を避け地熱を利用して、日光をしっかりと受けて養分を蓄えます。

上方ほど小さくなります。中部より上は全体無毛です。4〜6月、茎の先に黄色を帯びた白色の小さな十字状花が総状に咲きます。実は細く、長さ4〜6cmもあります。上向きに茎にぴったりと沿っています。このような草の姿から、「旗竿」の名が付きました。発芽し、ロゼットで冬を越し、春に開花し実をつけて枯れる二年草です。

日本全土の日当たりの良い草原、河原などに分布します。町内では、新宮の熊野川の土手で見られます。

【写真・文】

緑花文化士 富沢由美子

熊野第四小学校 3年 小林 智樹



【評】全校で育てたサツマイモを掘っている様子を描きました。手や足を曲げて、イモを傷つけないようにやさしく掘りました。



【評】画の接し方が丁寧で、文字のバランスも整っています。すがすがしい作品です。

財広島県環境保健協会

環境啓発ポスター

コンクール



▽奨励賞受賞作品  
第二小4年 米田芽生さん



東中3年 北川裕里さん



(生活環境課)